伊達 DATE

PUBLIC RELATIONS MAGAZINE

［だて市政だより］

伊達なまちの情報を発信、
頑張る人を応援する広報紙

3月号

March 2019 No.157
2019年2月28日発行
（毎月第4木曜日発行）

【特集】

伊達な酒

春の訪れはもうすぐ（やながわ希望の森公園）

市役所保原本庁舎は【議会棟】【中央棟】【東棟（増築棟）】の３つの棟に分けて案内します。文章中にある棟の場所は、上記を参考にしてください。

CONTENTS 目次

03 6次産業化塾
04 特集　伊達な酒
07 健康で長生きするためには
08 NEWS　福島大学と協定を締結　ほか
12 伊達市民憲章作文コンクール
14 伊達市立志式　志を立て、生き方を考える
15 ZOOM UP　保護司の活動拠点が開所　ほか
16 暮らしのサポーターコーナー／ふる里再発見
17 健幸都市 NEWS
18 健康通信（Health Report）　100歳以上の高齢者を紹介します
20 INFORMATION　地域素材がテーマのセミナーを開催　ほか
21 施設案内
22 人口と世帯／水道修理当番表　ほか
23 国際交流員の活動日誌　「聖パトリックの祝日」
24 市長コラム／手話でコミュニケーション

「伊達の恵みを一杯」

伊達市の米と水を使用した日本酒「伊達　純米吟醸」を３月３日から販売します。普段は何気なく味わうことが多いかもしれませんが、１本のお酒には、地域の魅力や恵みが詰まっています。4㌻からの特集をぜひご覧ください。

編集・発行　伊達市総務部秘書広報課
印刷・製本　タカラ印刷株式会社

市公式
ウェブサイト

市公式 SNS アカウント
「福島県伊達市」

目指せ、6次化商品開発！

6次産業化塾

農業者の6次産業化の発展を目指して開講した「6次産業化塾」。受講者の皆さんが、あんぽ柿、いちご大福の新パッケージを開発しました。

問 農政課農政企画係　☎ 573-5635

あんぽ発祥の地 五十沢のあんぽ柿

幅広い年齢層の女性をターゲットに、贈り物やお土産に選びやすく、あんぽ柿を知らない人にも受け入れやすいデザインとしました。

ポアンポ
poanpo
とろ〜り伊達の極上セミドライ柿

30代の女性をターゲットに設定し、高級感とかわいらしさを併せ持ったネーミングにしました。コンセプトは、自分へのちょっとしたご褒美。

ちょっと贅沢（ぜいたく）ないちご大福

ターゲットは30代の女性。自分へのご褒美、友だちや親せきへのちょっとしたお土産が商品のコンセプトです。

ふくしま柿のれん
寒中の星うまとろあんぽ

寒空のもと、旨味を静かにその身の中に凝縮している姿をイメージ。30、40代の女性をターゲットとし、おしゃれで気軽に手に取ってもらえるデザインに仕上げました。

6次産業化とは

6次産業化とは、農林漁業者（1次産業）が、生産だけでなく、加工（2次産業）、流通・販売（3次産業）を一体的に行い、生産物に新たな付加価値を生み出す取り組みのことです。

市では、農業者が取り組む6次産業化をさらに発展させるため、福島学院大学の木村信綱准教授の協力を得て、昨年11月から12月にかけて「6次産業化塾」を開催してきました。

パッケージ開発に取り組む

塾では、あんぽ柿を主な題材とし、市内の農業者12人とデザイナー8人がパッケージの開発に挑戦。講師から売れる6次化商品のポイントなどの講義を受け、販売ターゲットを絞って新パッケージを考えました。

各チームは、主に女性をターゲットとし、あんぽ柿発祥の地・梁川町五十沢を前面に出したものや、スイーツをイメージしたものなど、趣向を凝らした商品を完成させました。

消費者からも好評

1月29日、30日には、コラッセふくしまで発表会と生産者によるテスト販売を行いました。また、2月15日には東京都日本橋の日本IBM本社でもテスト販売を実施。個包装なので買いやすい、デザインが良いと、消費者から好評を得ました。

今後は、6次産業化の普及や支援のほか、既存の6次化商品の価値をさらに高めていく取り組みを行っていく予定です。

コラッセふくしまで行ったテスト販売

【特集】 地域の魅力が詰まった逸品

伊達な酒

近年、福島県のお酒が全国で高く評価されています。伊達市にも、地域の素材を生かし、地域の皆さんが関わりながら造られたお酒があります。その誕生に至る背景にも目を向けてみませんか。

※この特集は飲酒を推奨するものではありません。20歳未満の人の飲酒は法律で禁じられています。

地元の素材で作られたお酒

伊達市には、桃やあんぽ柿など全国に誇れる多くの農産物や加工品があります。その中でも、地域の素材を生かし、地域の皆さんが関わりながら造られたお酒があることをご存知でしょうか。

一本のお酒が誕生する背景には、さまざまな物語があります。市が行っている日本酒の商品化に向けた取り組みとともに、お酒に関わる地域の皆さんの思いを紹介します。

伊達の魅力を発信するために

昨年2月、市では、オリジナル日本酒「初代朝宗　大吟醸」を発売しました。

この商品は、市外から伊達市を訪れる人に、伊達市のことを知ってもらうきっかけづくり、そして、魅力を発信するツールとして活用することを目的とし、酒造店と連携して商品化に取り組みました。

この取り組みをさらに発展させ、スタートしたのが「初代朝宗プロジェクト」です。

オール伊達市産を目指して

初代朝宗プロジェクトは、伊達市産の酒米と水を使用した、オール伊達市産の純米吟醸酒の生産に向けた取り組みです。

プロジェクトは、昨年6月、酒米の生産・管理者の協力を得ながら行った、田植えから始まりました。田植えは、食を通じた農業体験として開催し、市民の皆さんが参加しました。参加者からは「手作業での田植えは大変だったけれど、植えた苗がいずれお酒になるのが楽しみ」など、日本酒の完成を期待する声が多く聞かれました。

その後、高温少雨という夏の厳しい気候に見舞われながらも、無事に収穫を迎えました。そして、精米輸送やラベルデザインの決定を経て、オリジナル日本酒「伊達　純米吟醸」が完成しました。

一杯の背景にあるもの

一本のお酒が完成するには、原料の生産から醸造に至るまで、たくさんの人が関わっています。そして、お酒造りに関わる皆さんの思いも込められています。

普段は何気なく味わっているお酒、その一杯の背景にあるものにも思いを馳せてみませんか。

水田に実る酒米「夢の香」
（平成30年8月22日撮影）

田植え動画

みんなで田植え＆稲刈り

使用した酒米「夢の香」と「天のつぶ」は、市内の水田で育てました。田植えと稲刈りには、市民の皆さんが参加しました。

稲刈り動画

伊達市産酒米と「霊山湧水の里」の名水を使用したオール伊達市産の一本

伊達 純米吟醸 生酒

3月3日発売　※限定600本

［価格］ 税込 1,944円
720ml 四合瓶（箱付き）

［製造者］ 有限会社 金水晶酒造店

市内の酒販店や道の駅「伊達の郷りょうぜん」で販売。

伊達　純米吟醸　検索

問 農政課農業振興係　☎ 573-5635

ラベルは「政宗ダテニクル」キャラを起用
5月、9月には新商品も登場

アニメファンや女性、若者にも気軽に商品を手に取ってもらえるように、ラベルのデザインは伊達市観光PRアニメ「政宗ダテニクル」のキャラクターを起用しました。

また、5月には「火入れ」、9月には「熟成酒」と、生酒とは味わいの異なる新商品を販売します。

©ガイナ / 福島県伊達市

霊山の魅力を詰め込んだ一本

みちのく霊山

商品情報

「みちのく霊山」は、24年前に誕生しました。当時、霊山に特産品と呼べるものが必要だと考えました。地元にあるもので、地元の良さをアピールしたかったのです。

この一本には、霊山の魅力が凝縮されています。米は泉原地区のコシヒカリ、水は「霊山湧水（わくみず）の里」の水を使用しています。この水は昔からある名水で、「涌水」という地名があるくらい、地元にとってなじみ深いものです。名前に「霊山」と付けたのも、霊山のお酒であることをすぐにわかってもらえるようにするためです。

県外で販売しないかというお話をいただいたこともあるのですが、敢えて霊山町内のみで販売しています。ぜひ霊山に来て、味わってほしいですね。

りょうぜん町地酒造り推進協議会
会長　橘内 久芳さん　副会長　髙橋 善伴さん

地域の課題解決をきっかけに誕生

白根万歳（まんざい）

商品情報

約30年前、白根地区で「豊かな白根の里づくり推進協議会」が発足しました。白根地区はかつて養蚕が盛んでしたが、時代とともに養蚕農家の数が減り、耕作放棄地の対策に取り組まなければならないという課題があったのです。

そこで注目したのが、白根地区に昔から受け継がれてきた作物「もろこし」でした。もろこしを使用した商品づくりなど、もろこしを活用して地域の活性化に取り組んでいく中で、「白根万歳（まんざい）」が誕生しました。名前は、現在も地区に伝わる伝統芸能「白根万歳（まんざい）」に由来しています。

白根万歳（まんざい）は、地区の皆で作り上げてきた、地元の魅力と歴史が詰まった一本です。ぜひ多くの人に手に取ってもらいたいですね。

豊かな白根の里づくり
推進協議会会長
三浦 雄一さん

まだあります、伊達の酒

浪漫倶楽部（ろまんくらぶ）

商品情報

「浪漫倶楽部（ろまんくらぶ）」は、平成13年から販売しているじゃがいも焼酎。原料に保原地域高成田地区産のじゃがいもを使用し、北海道清里町の醸造所で製造されています。当時の清里町長のご先祖が旧保原町出身だったことが誕生のきっかけです。

霊山しそ乙女（おとめ）

商品情報

「霊山しそ乙女（おとめ）」は、霊山産のしそを使用した焼酎です。「みちのく霊山」に続く名産をつくろうという、地元の皆さんの思いから誕生しました。より多くの人に愛着を持ってもらうため、名前は公募で決定しました。

健康で長生きするためには

いつまでも健康で自立した生活を送ることは、多くの人が望むことです。医療費の観点を踏まえながら、健康寿命を伸ばすためにできることを紹介します。

問 国保年金課賦課係　☎ 575-1198

健康寿命を伸ばすためにできることは？

①生活習慣を見直そう

伊達市の医療費（平成 29 年度）の割合は、国と比較すると「がん」、「透析を要する慢性腎不全」、「高血圧症」が高い割合にあります。（図 1 参照）

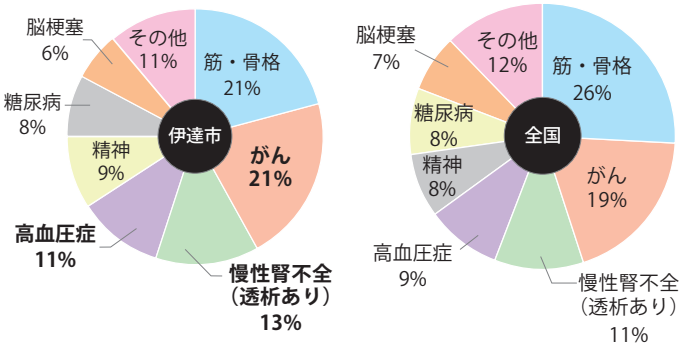
喫煙や運動不足など、生活習慣を見直すことで、健康寿命（元気に自立して過ごせる期間）を伸ばすことにつながります。

②健診受診で病気を早期発見

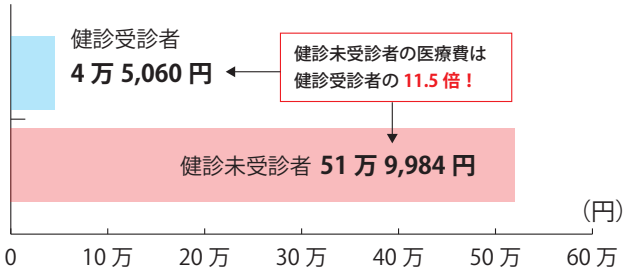
健診を定期的に受診することで、病気の早期発見や重症化を防ぐことができます。

健診を受けている人と受けていない人とでは、医療費に大きな差が生まれています。生活習慣病などで通院している人の医療費を健診受診の有無で比較すると、11.5 倍の差がありました。（図 2 参照）

▼図 1　平成 29 年度医療費の比較（国保データベースより）



▼図 2 生活習慣病等受診者の医療費の比較（国保データベースより）



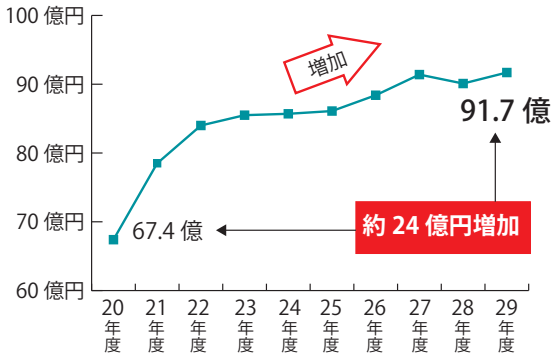
ちょっと気になる医療費のこと

医療費は増え続けています

伊達市の平成 29 年度後期高齢者の医療費は約 92 億円で、年々増え続けています。医療費の推移を見てみると、後期高齢者医療制度が始まった平成 20 年度から約 24 億円増加していることがわかります。（図 3 参照）

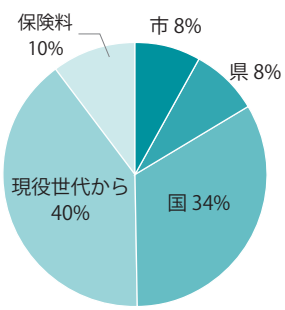
医療費が増える最大の原因は被保険者数の増加ですが、1 人当たりの医療費も約 76 万円から約 82 万円へと増加しています。

▼図 3　伊達市の年間医療費の推移



コラム　医療費は誰が負担しているの？

本人が負担する保険料と国や県、市の公費、現役世代からの支援金（国保税や社会保険料）を財源として社会全体で支え合っています。



健康は医療費の削減や保険料の負担減少にもつながります

- 積極的に地域との関わりを持ちましょう。
- 食生活を見直し、塩分を摂りすぎないようにしましょう。
- お薬手帳で薬を適切に管理しましょう。

市役所保原本庁舎は【議会棟】【中央棟】【東棟（増築棟）】の3つの棟に分けて案内します。文章中にある棟の場所は、上記を参考にしてください。

市政の動きをいち早くキャッチ！

DATE CITY NEWS

01 NEWS 福島大学と協定を締結

協力関係をいっそう強化

1月30日、福島大学と相互協力に関する協定を締結しました。福島大学とは、放射能災害による稲の試験栽培、人間発達文化学類との連携・協働に関する協定、食農学類との連携協力に関する基本協定など、さまざまな分野で連携協力をしてきました。

今回締結した協定は、これまで積み重ねてきた協力関係をいっそう強化し発展させるものです。包括的な連携のもと、地域の課題に対応し、地域社会の発展、社会・産業活性化等の人材育成の寄与を目的としています。

今後は協定に基づき、社会福祉増進、まちづくり振興、地域人材育成、教育・文化・スポーツ振興、地域産業発展、自然・環境保全などの取り組みを進めていきます。

福島大学の中井勝己学長（写真右）と須田市長

問 総合政策課政策調整係　☎ 575-1142

02 NEWS 福島労働局と協定を締結

持続可能な地域経済の実現と活性化を図る

2月15日、福島労働局と雇用対策協定を締結しました。この協定は、市と福島労働局が雇用対策に取り組み、地域の人材不足を克服し、持続可能な地域経済の実現と活性化を図ることを目的としています。

今後は、新卒者に対する就職支援や市内企業への就職促進など、若年者への就職支援を充実するほか、人材確保対策の実施、全員参加型社会の実現に向けた取り組みの強化、働きやすい環境の整備に取り組んでいきます。

福島労働局の森戸和美局長（写真右）と須田市長

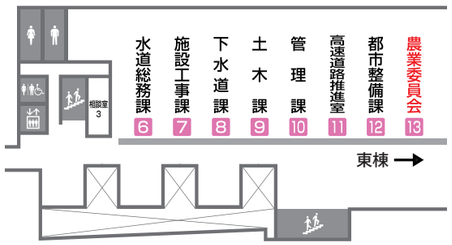
問 商工観光課商工労政係　☎ 573-5632

03 NEWS 農業委員会事務局が中央棟2階に移転しました

右の案内図をご確認ください

執務室の工事のため、市役所東棟4階で業務をしていましたが、工事の完了に伴い、2月25日から市役所中央棟2階に移転しました。

▼市役所中央棟2階



問 農業委員会事務局　☎ 573-5623

04 NEWS 市民課窓口に受付発券機を設置しました

お手続きの際は番号札をお取りください

市民課でも税務証明書の発行ができるようになりました。各種手続きを行う皆さんをスムーズに窓口にご案内するため、受付発券機と案内モニターを設置しました。

市民課でお手続きする際は

① 窓口の発券機で番号札をお取りください。

用件別のボタンを押してください。発券番号でお呼びします。➡

② 記載台で証明申請書や異動届書を記入してください（混雑時は待合席でお待ちください）。

③ 順番になったら、モニター表示と音声で担当する窓口をご案内します。

問 市民課市民窓口係　☎ 575-0205

05 NEWS 臨時窓口を開設します

3月24日㊐、4月7日㊐に開設

［日時］ 3月24日㊐、4月7日㊐
8時30分～17時
［場所］ 市役所中央棟1階
※各総合支所の臨時窓口は行いません。

◇取扱業務
①転入・転出・転居などの届出
②住民票・戸籍関係・印鑑証明書の交付
③印鑑登録申請の受付
④所得証明書などの税務証明書の交付

◇注意事項
・マイナンバーカードの交付、広域交付住民票の発行はお取り扱いできません。
・他市町村や関係機関に確認が必要な時などは、お取り扱いができない場合や再度来庁していただく場合があります。事前にお問い合わせください。

◇混雑緩和にご協力ください
3月・4月の月曜日や祝日の翌日、12時～14時頃の時間帯は窓口が大変混み合います。時間に余裕を持って来庁ください。

問 市民課市民窓口係　☎ 575-0205

06 NEWS 自動車を廃車、譲渡したら手続きを忘れずに

3月中に手続きをしてください

自動車税（軽自動車税）は、毎年4月1日現在で、自動車（軽自動車）を所有または使用している人に課税されます。自動車（軽自動車）を譲渡、廃車した場合や所有者が住所を変更したときなどは、3月末までに手続きをしてください。

ナンバー・車種別の変更手続き先など、詳しくは市政だより2月号をご覧ください。

市政だより2月号に掲載した記事はこちらからダウンロードできます

ご注意ください！

軽自動車税は**4月2日以降に名義変更・廃車などをしても1年分の税金が課税されます**。登録事項（車検証などの内容）に変更がある場合は、忘れずに手続きしてください。

問 税務課市民税係　☎ 575-1138

普通自動車については、下記にお問い合わせください。
登録手続き：東北運輸局福島運輸支局（福島市吉倉字吉田54）☎ 050-5540-2015
自動車税：県北地方振興局課税第二課（福島市杉妻町2-16　北庁舎4階）☎ 521-2702

07 NEWS 国保のマル学（※）は毎年手続きが必要です

4月1日㊊から受付開始

国保学生特例制度（以下、マル学）の受付を4月1日から開始します。

昨年度、マル学に該当した人も毎年手続きが必要です。申請が無い場合は、国民健康保険被保険者証が使用できなくなります。対象者は必ずお手続きください。

[対象] ①～③のすべてを満たす人
①伊達市の国民健康保険被保険者である
②修学のために転出する
③親などから学費・生活費の仕送りを受ける

[申請方法]
必要書類を持参し、国保年金課（市役所中央棟1階）または各総合支所（保原を除く）の市民担当窓口で申請してください。

[必要書類]
（1）マル学該当（新規・継続）の場合
・来庁する人の写真付きの身分証明書
・印鑑
・**平成31年4月1日以降に**発行された在学証明書の原本
※学生証や合格通知は受付不可
（2）マル学非該当の場合
・来庁する人の写真付きの身分証明書
・印鑑
・退学証明書（学校を退学した場合）
・社会保険証（社会保険に加入した場合）
※今までお使いの国民健康保険証を回収しますので持参してください。
※卒業によるマル学該当期間満了の場合は、4月初旬に世帯主あてに「国民健康保険加入期間証明書」を送付します。

問 国保年金課給付係　☎575-1198

※マル学とは
修学のために他市区町村に転出した（伊達市外へ住民票を移した）国民健康保険被保険者は、転出後も伊達市の国民健康保険被保険者でいられる特例制度

08 NEWS 火災を予防しましょう

大切な生命と財産を守るために

ごみの野焼きは禁止されています

野焼きは一部の例外を除き、法律で禁止されています。やってもやらせても犯罪になります。日常生活で出るごみは自分で燃やさず、決められた日にごみ収集に出しましょう。

問 消防防災課消防係　☎575-1222

住宅用火災警報器の設置は済んでいますか

住宅火災による死者数のうち、逃げ遅れによるものが過半数を占めています。火災を早期発見し、速やかに避難できるように、すべての住宅に住宅用火災警報器を設置することが義務付けられています。

悪質な訪問販売に注意！

消防署や消防団、市役所での住宅用火災警報器の販売のあっせんは行っていません。

09 NEWS 防災無線の伊達市歌を一時放送停止します

停止期間は3月9日㊏～12日㊋を予定

市役所増築に伴い防災無線の機器を移設するため、毎日17時に防災無線から放送しているミュージックチャイム（伊達市歌）の放送を一時停止します。

問 消防防災課防災企画係　☎575-1197

[期間（最大）] 3月9日㊏～12日㊋
[対象地域] 市内全域

10 NEWS 「元気じゃ脳教室」のサポーターを募集します

応募申込は4月19日㊎まで

元気じゃ脳教室は、高齢者のための脳のトレーニング教室です。春から開講予定の元気じゃ脳教室のサポーター（ボランティア）を募集します。

[応募資格] どなたでも応募できます。
[応募方法] 4月19日㊎までに高齢福祉課に電話で申し込んでください。

[活動内容]
週1回、教室の運営や教室参加者の学習のお手伝いをします。
※開始前に研修会を行いますので、初めての人も安心です。

問 高齢福祉課高齢支援係　☎575-1125

11 NEWS 臨時職員を募集します

申し込みは3月8日㊎まで

伊達市　臨時職員　検索

◇臨時職員（議会事務局に勤務）

[申込方法] 3月8日㊎までに履歴書（顔写真添付）を議会事務局（市役所議会棟3階）に提出。結果は面接後、通知により連絡します。

職種	業務内容	採用人数	必要な技能	雇用期間	勤務条件
一般事務	会議録・文書作成の補助、会議準備、電話・窓口応対など	1人	パソコン操作ができる	4月1日～9月30日	週5日 7時間45分勤務 日給7,200円 通勤手当、有給休暇、社会保険あり

問 議会事務局庶務係　☎575-1217

12 NEWS ミスピーチを募集します

応募申込は4月24日㊌まで

福島の果物の魅力を全国にPRする「2019ミスピーチキャンペーンクルー」を募集します。

[応募資格] ①～③のすべてを満たす人
① 18歳以上で心身ともに健康な人（高校生は除く）
②県内に居住、または在勤・在学しており福島市などでの活動が可能な人
③年間20日以上活動ができる人
※特に7～8月は他の用件よりも優先してPR活動に専念できる人
[応募期限] 4月24日㊌必着

詳しくはHPをチェック

[定員] 10人以内
[応募方法]
応募用紙を下記の応募先に持参または郵送・FAX（番号533-2725）で提出してください。希望者には応募用紙を郵送します。また、福島県くだもの消費拡大委員会ホームページからの応募も可能です。
[応募先]
〒960-8601　福島市役所農業振興室内
「キャンペーンクルー」係
[選考会] 5月11日㊏

問 福島県くだもの消費拡大委員会事務局
☎529-7663

伊達市民憲章作文コンクール

問 総務課行政管理係 ☎575-1111

市内の小学5、6年生と中学生を対象に、市民憲章作文コンクールを実施しました。今年のテーマは市民憲章の一つである「つなぎましょう 世代の絆とたしかな信頼を」で、小学生の部207点、中学生の部204点の応募があり、11月の審査会で18点の受賞作品が決定しました。

選ばれた作品はどれも素晴らしく、自らの体験で得た地域とのつながりを大切にする気持ちや、ふるさとの伝統文化を引き継ぐ思いなど、伊達市をより良くするために、自分ができることを一生懸命考えている作品が多くありました。

その中から、小学生の部は伊達小学校6年生の大山峻さん、中学生の部は伊達中学校3年生の吉田桃香さんの作品が最優秀賞に選ばれました。各部の最優秀賞に輝いた作品を紹介します。

伊達市民憲章（抜粋）

一 まもりましょう
　ふるさとの自然と歴史を

一 つなぎましょう
　世代の絆とたしかな信頼を

一 そだてましょう
　支えあいと思いやりの気持ちを

一 きずきましょう
　学ぶ心とゆたかな文化を

一 めざしましょう
　すこやかで活力のあるまちを

1

2

3

1. 受賞者の皆さん /2.3. 須田市長から賞状を受け取る大山峻さん（写真 2）と吉田桃香さん（写真 3）

各賞名	氏名	学校・学年
最優秀賞	大山　峻さん	伊達小学校6年
	吉田　桃香さん	伊達中学校3年
優秀賞	大橋　陸さん	大石小学校6年
	佐藤　澪さん	粟野小学校5年
	渡邊　凛咲さん	粟野小学校6年
	長正　万穂さん	掛田小学校5年
	関根　葵さん	松陽中学校2年
	菅野　美緒さん	伊達中学校1年
	野田　勇希さん	松陽中学校3年
	齋藤　颯斗さん	月舘中学校1年
佳作	菅野　忠遼さん	小国小学校5年
	渡邉　楓華さん	石田小学校6年
	斎藤　城宇さん	小手小学校6年
	大橋　青空さん	上保原小学校6年
	渡邉　ひなたさん	伊達中学校2年
	紺野　真白さん	松陽中学校1年
	大橋　結依さん	桃陵中学校2年
	三浦　千穂さん	月舘中学校3年

小学生の部　最優秀賞
「心から心へ―つながる絆―」

伊達小学校　6年
大山 峻 さん

ぼくの家の近くに、伊達中央交流館がある。二階建ての建物の中には、広い講堂や会議のできるちょっとした部屋がある。自由に学習できるスペースもある。そして何と言っても、ぼくたちのことを第一に考え、日々活動してくださっている先生方が、いつもここで優しく迎えてくれる場所でもあるのだ。ここは、ぼくにとって、学びの場を与えてくれる第二の学校のような存在である。

交流館では、さまざまなイベントが開かれる。子ども農園、もちつき教室、門松づくり、ちまき教室、巣箱づくり教室、だんごさし、竹鉄ぽうづくり……。どれもこれもなかなか家族だけではできないようなものばかりだ。その中でぼくは子ども農園に参加した。子ども農園は、毎月第二、第四水曜日に開かれる。交流館裏の畑で、いろいろな野菜を栽培し、収穫する。収穫した野菜を使って料理し、みんなで食べることもある。自分たちで作った野菜で調理すると、格別おいしく感じるのだから、不思議だ。きらいな野菜も平気でぺろっと食べられてしまう。そればかりではない。野菜についての豆知識や育て方のこつ、簡単な調理の仕方なども、ていねいに教えてくださる。生きていくためには必要なことがたくさんある。生活の知恵だという。ときにはぼくが両親に教えてあげることもたくさんあって、ちょっとした自慢の一つになっている。

この夏は、恒例のキャンプにも参加した。このキャンプは毎年夏休みに行われている。場所は国立花山青少年自然の家、野生の生き物やめったにみられないような植物が生えている自然豊かな所だ。二泊三日の中で、ぼくが一番心に残っているのは、野外炊飯だ。飯ごうを使った炊飯の仕方やイワナの内臓の処理の仕方、防災食づくり、そして火のおこし方を学んだ。一番難しかったのが、火おこしだった。実際にやってみるとうまくつかず、すぐに火が消えてしまい、がっかりの連続だった。そんなとき先生方は、ていねいにこつを教えてくれる。ぼくができるようになるまで、ていねいに最後まで見守ってくれている。おかげで生まれて初めて、自分で火をおこすことができた。この三日間で、ぼくも少しは成長できたように思う。ふだんはあまり言う機会がないが、交流館の先生方には、いつも心の中に感謝の気持ちを持っている。いつかきちんと、「ありがとう」の言葉を伝えたい。

ぼくたちの伊達市には、ぼくたちをまるで我が子のように大切に思って活動している方がたくさんいる。ある日、こんな言葉を聞いた。「子どもは街の宝だ。おれらが伝えられっことは、何でも教えっかんな。任せろ。」何かとても心が温まる、たのもしい言葉だ。

ぼくが学ぶことはたくさんある。これからもこの街でたくさんのことを吸収し、次の世代へバトンを渡せるようにしていきたい。

中学生の部　最優秀賞
「音楽を通して」

伊達中学校　3年
吉田 桃香 さん

夏休み、私は梁川で行われた夏祭りに参加した。広瀬川のそばで行われる夏祭りで、たくさんの人が訪れている。昼はいろいろなイベントが催され、夜は花火が打ち上げられたりと、一日中楽しむことができるお祭りだ。

私が参加したのは、「オラトリオ」というイベントだ。去年も参加し、今年で参加するのは二回目だ。「オラトリオ」とは、梁川の自然との共生を誓ったふるさと賛歌のことで、伊達市の音楽団体で演奏する。何しろ小学生からお年寄りの方まで百人以上の人たちで一つの音楽をつくりあげるのだ。形にするのはとても大変なことだ。

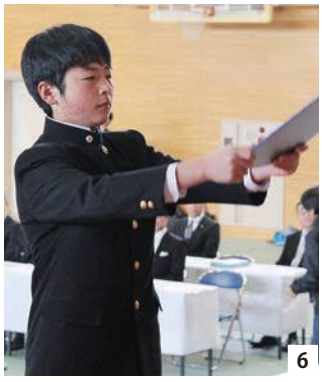
前日の夜に行われた合同練習では、たくさんの人たちと演奏した。合唱や吹奏楽、踊り、太鼓など…。吹奏楽ばかりやっていた私にはとても新鮮に見えた。私の周りはいつもの仲の良い友達ではなく、知らない大人の人ばかりだ。緊張していた私に、同じパートの人たちは、優しく声をかけてくれた。楽譜の確認など、気配りもしてくれた。練習は大変だったが、いろいろな人と話すことができて楽しかった。

いよいよ夏祭り当日の夜になった。演奏が終わった瞬間、花火が打ち上げられるため、夜に演奏するのだ。広瀬川の石段には、石が見えなくなるほどたくさんの人が座っていた。市長さんや、実行委員長の話が終わり、曲が始まった。指揮棒と同時に音楽はゆるやかに流れていく。野外で演奏することはなかなかないが、とても気持ち良いと思った。曲は中盤にさしかかり、太鼓や踊りが披露される。やがて曲が終わり、一瞬の静寂。次の瞬間、割れんばかりの拍手が夜空に鳴り響いた。花火も華麗に咲き誇る。私は強い感動を受けた。たくさんの人で一つのものをつくり上げると、こんなに多くの人を感動させることができるのか。その後、私は周りの演奏者の人たちと少し話した。お互いの努力を労ったり、世間話をしたりした後、

「また来年会いましょう！」

と言い合い、私は帰途についた。

私は、この夏祭りからたくさんのことを学んだ。人々が力を合わせれば、大きな達成感や感動を得られること。世代が離れていても、心を通わせられること。私が人々の絆を深めるために最も必要だと思うのは、やはり地域のイベントやお祭りだと思う。「また来年」そう言い合える場所が地域には必要だ。普段私たち学生や、働いている方、お年寄りの方とでは、日々の時間の過ごし方が全く違うといっても過言ではない。当然コミュニケーションも取りづらい。同じ時間を共有することで距離はグッと縮まると思う。そのためには、これからイベントやお祭りを次の世代が継承していかなければならない。これから私は、主体性を持ち、積極的に地域と関わる努力をしていきたい。



1. 決意を胸に「手紙～拝啓 15 の君へ～」を合唱する（松陽中）/2. 正しいテーブルマナーを学ぶ（梁川中）/3.「立志川柳」を披露する（月舘中）/4.5. 力強く誓いの言葉を述べる生徒（4. 桃陵中 5. 伊達中）/6. 凛々しい表情で立志証書を受け取る（霊山中）

伊達市立志式

志を立て、生き方を考える

将来の目標に向かって志を立て、自分の生き方を考える「立志式」が市内の各中学校で行われました。この式は、かつての成人の儀式である元服にちなみ、数え年で15歳の中学2年生を対象に行われています。

松陽中学校では、生徒一人一人に立志証書が授与され、代表の伊藤尚輝さんが誓いの言葉を述べ、関根葵さんが感謝と決意のメッセージを読み上げました。

式の後は、セレビアスカイパレスでお祝い会が開催され、テーブルマナーを学ぶために洋食のフルコースを会食。フォークやナイフの正しい使い方や会話の作法を学び、社会に出るための素養を身につけました。

立志式講演会

つらいことに負けないで

2月12日、チベット出身の歌手、バイマーヤンジンさんを講師に迎え、保原体育館で立志式講演会を開催しました。

バイマーヤンジンさんは、ユーモアあふれる語り口で生徒たちにチベット文化を紹介したほか、自身の経験から感じた学ぶことの大切さを話しました。

また、大学で民族差別を受けた過去を語り、「どんなにつらい状況でも、自分のことを大切に思ってくれる人がいます。私はその人のおかげで救われました。皆さんもつらいことに負けないでください。そして、近くに苦しんでいる人がいたら手を差し伸べてください」と、生徒たちにメッセージを送りました。

※このスペースは有料広告です。詳しくは、秘書広報課（☎ 575-1113）にお問い合わせください。

1/25（金） 元気に帰ってきてね 梁川小児童がサケの稚魚を放流

梁川町広瀬川　event

梁川小学校の２年生が広瀬川にサケの稚魚約１万5,000匹を放流しました。放流した稚魚は、広瀬川に鮭を戻す会が、広瀬川で採った卵をふ化させたものです。会長の二瓶富章さんは、児童たちに放流した稚魚が成長して帰ってくることなどを説明し、「サケが帰ってこられるように川をきれいにしましょう」と呼びかけました。児童たちは、稚魚をバケツから川に流し、「元気に帰ってきてね」と呼びかけていました。

12/27（木） 地域を守る 保護司の活動拠点が開所

梁川福祉会館　ceremony

法務大臣からの委嘱を受けて、犯罪予防などの活動を行う保護司の活動拠点「伊達地区保護司会事務所」が梁川福祉会館内に開所しました。同事務所は県内で11番目の設置となり、経験豊富な８人の保護司が毎週火曜日と金曜日に交代で待機し、非行などの困りごと相談を行います。また、伊達地区（伊達市、桑折町、国見町）の保護司の意見交換、関係機関との協議の場として活用され、更生保護を推進していきます。

2/14（木） お仕事がんばって！ 園児からバレンタインプレゼント

伊達市役所　Valentine's Day

神愛幼稚園、保原教会幼稚園、認定こども園大田、認定こども園上保原の園児10人が市役所を訪れ、須田市長にバレンタインデーのチョコレートや手書きのメッセージボードなどをプレゼントしました。園児たちは「お仕事をがんばってください」とみんなで声を合わせながら須田市長にプレゼントを手渡しました。須田市長は、「みんなからもらったチョコを食べてお仕事をがんばります」とお礼の言葉を述べました。

1/21（月） 保原高生が伊達市の活性化に向けた企画提案を発表

伊達市役所　presentation

保原高校では、市内で唯一の商業科を有する高校の利点を活かし、本年度から実践的・体験的な学習「地域連携授業」に取り組んでいます。報告会では、商業科の３年生８人が一人ずつ、１年かけて取り組んだ「伊達市の地域活性化に向けた企画提案書」の成果について、市長や教育長に報告しました。提案の中には、商品化に向けて市内事業者と試行を行った企画もあり、今後の発展に大きな期待が持てる報告会となりました。

※このスペースは有料広告です。詳しくは、秘書広報課（☎575-1113）にお問い合わせください。

暮らしのサポーターコーナー

★ **消費生活センター業務時間**
時間・場所
㊊～㊎　8時30分～17時
（来所は9時～16時）
市役所中央棟1階
消費生活相談室　☎574-2233

第117回

フリマサービスを利用する際は慎重に！

フリマサービスは個人同士の取引であることを十分理解しましょう。

インターネット上で、個人同士がフリーマーケットのように商品を取引できる「フリマサービス」（フリマアプリやフリマサイトなど）の利用が広がっています。一方で、商品の取引を巡るトラブルなどが増えています。

事例

①フリマアプリで新品と書かれていた商品を購入し、代金を運営事業者に支払った。しかし、届いた商品は新品ではない上に壊れていた。

運営事業者に問い合わせたところ、「アプリのメッセージ交換機能であなたと出品者とで連絡が取れているので、出品者と話し合って」と言われた。出品者と連絡を取ると「返品を受けるので先に評価をしてほしい」と言ってきたので評価をしたが、一切連絡が取れなくなってしまった。

ひとことアドバイス

▼フリマサービスでの商品売買は、個人間取引（購入者と出品者の双方が消費者個人）です。トラブルは当事者間で解決を図るように求められていることを理解して利用しましょう。

▼フリマサービスでは、購入者が出品者を「評価」することで、自分が支払った代金が運営事業者から出品者に振り込まれるシステムになっていることもあります。商品に納得する前に「評価」すると、代金だけ支払われて出品者と連絡が取れなくなるケースもあります。利用規約をよく理解して、慎重に取引を行いましょう。

▼当事者間で話し合っても、運営事業者に相談しても交渉が進まない場合は、問題点を整理するため、消費生活センターに相談しましょう。

地域の魅力 ふる里再発見

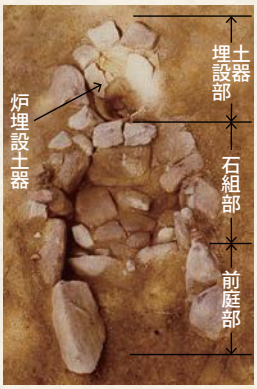
伊達市内の縄文文化 ～複式炉から考える～

縄文時代は、今から1万6千年前～2400年前頃にかけて、約1万3千年間続きました。市内では、盆地内の微高地や段丘上、山間部の狭い平坦地などに178カ所の縄文遺跡が発見されています。古い順に草創期、早期、前期、中期、後期、晩期に分けられ、市内からは早期～晩期の遺跡が見つかっています。

先の旧石器時代の寒冷な気候は、縄文時代に入ると温暖になりました。山野には落葉広葉樹林が繁茂してクリ、クルミ、ドングリ、トチの実などが豊富に実り、イノシシなど動物も増え、狩猟・採集が盛んになり、中期には規模の大きい集落もつくられました。

そして、中期中葉～末葉に、それまでの地床炉、石囲炉から土器埋設部と石組部を組み合わせた「複式炉」と呼ばれる炉が出現してきます。炉は炊事、照明、暖房の機能をもちますが、複式炉には、ドングリやトチの実などをアク抜きして食べるために多量の灰を保管していたとの考えがあります。

市内では、梁川の町谷川遺跡、夏窪遺跡、霊山の武ノ内遺跡、月舘の蔓ノ内（わくのうち）遺跡で発見されています。さらに福島県域から東北北部・北陸・関東まで広く分布しており、広い文化圏を形成していたとみられます。しかし、複式炉の存続期間はおよそ200年間と短く、中期末には複式炉の縮小・簡略化がみられ、後期初頭には消滅します。気候の冷涼化などその原因を解き明かすことが課題となっています。



蔓ノ内遺跡1号住居跡複式炉（複式炉各部の名称）

smart wellness date

健幸都市NEWS Vol.59

平成29年度から実施している健幸ポイント事業の分析結果をお知らせします。関心をお持ちの人は、ぜひお問い合わせください。

問 健幸都市づくり課健幸都市推進係　☎ 575-1146

歩くことから始めよう！

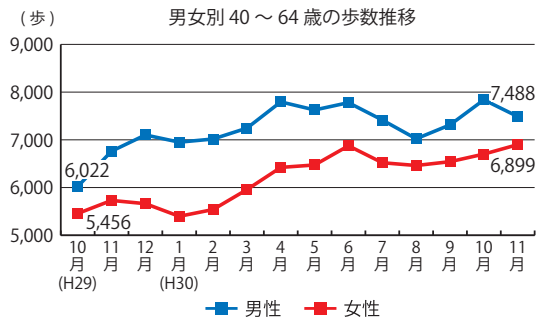
健康なまちづくりを目指すため、平成29年度からスタートした「伊達市健幸ポイント事業」は、今年1月末時点で参加者が約1,600人に達し、参加者自身が主体的に健康づくりに取り組んでいます。

参加者自らの体調に合わせ、気軽に楽しく日常的に歩くことを取り入れることで、歩数にどのような変化があったのかご紹介します。

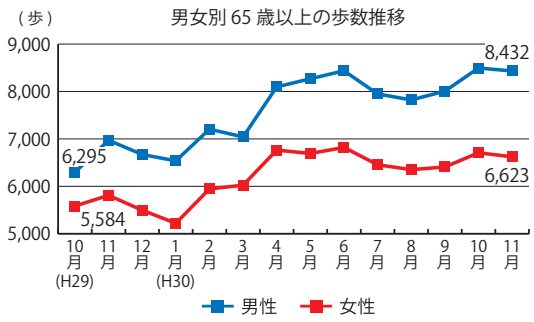
総歩数の変化

運動不足は、生活習慣病などの病気や思いもよらぬケガを招くことがあります。日々の生活に「歩く」を取り入れることで、健康的な体を手に入れることができます。少しの意識の変化から無理せず継続していきましょう。

男性で約1,500歩、女性で約1,400歩の歩数増加



男性で約2,100歩、女性で約1,000歩の歩数増加



※伊達市健幸ポイント事業平成29年度参加者の推移となります。

目標歩数と現状

	20～64歳		65歳以上	
	男性	女性	男性	女性
目標値（平成34年度）	9,700歩	8,600歩	6,700歩	6,400歩
1日の歩数平均	7,488歩	6,899歩	8,432歩	6,623歩
不足する歩数	▲2,212歩	▲1,701歩	1,732歩	223歩

※目標値：第二次健康ふくしま21計画
※1日の歩数平均：伊達市健幸ポイント事業平成29年度参加者の平成30年11月の平均歩数

65歳以上の健幸ポイント事業参加者の歩数は目標値を達成しています。あくまで目標値ですので、体調に合わせ無理せず継続しましょう。

歩くことが社会貢献!?

1人あたり1カ月の平均医療費は、歩行時間が多いほど低く抑制されている結果が出ています。例として、1日2,000歩増えると、1人年間約44,500円（※注）の医療費抑制ができる計算となります。

出典元：まちづくりにおける健康増進効果を把握するため歩行量（歩数）調査のガイドライン（国土交通省）

（※注）　医療費抑制額については、歩行量（歩数）の増加を貨幣換算しやすくするために1歩あたりの単価として整理したものです。実際に歩行による健康増進効果を得るためには、一定量の歩行習慣が必要となります。

地域で元気に長生きしている

100歳以上の高齢者を紹介します

市内には 45 人（男性 8 人、女性 37 人）の 100 歳以上の高齢者がいます。（平成 31 年 1 月末時点）楽しみや生きがいを持って元気に長生きしている皆さんを紹介します。

問 高齢福祉課高齢支援係　☎ 575-1125

伊達の木目込み人形職人

石川 ミヤさん（伊達）

大正 6 年 8 月 19 日生まれ

71歳から木目込み人形作りを始め、97歳までに何百体もの人形を作ってきました。高齢になってから始めたとは思えないほどの腕前で、展覧会に出品した作品が、賞を受賞したこともあるそうです。自宅には表情や恰好、大きさが異なる様々な人形が綺麗に所狭しと並べられていて、ミヤさんや家族を温かく見守ってくれています。古き良き日本の文化である日本人形作りに挑戦してみてはいかがでしょうか。

Q．長寿の秘訣は何ですか？

・ストレスをためないこと。

Q．好きなこと・楽しみにしていることは？

・好きな食べ物はおせんべい。
・デイサービスでは塗り絵をしたり、カレンダーを作ったりしている。

楽しみは月 2 回の外食

霜山 コギクさん（梁川）

大正 6 年 9 月 21 日生まれ

月に 2 回ほど息子さんと一緒に外食に行きます。用事で外出した帰りに、「お昼はラーメンでも食べに行くかい？」と聞くと、「ああ！良いな！」と言って喜んで行くそうです。コギクさんはまだまだ元気で食欲も旺盛。お店に行くと 101 歳という年齢とその食べっぷりに皆さん驚かれるそうです。

Q．長寿の秘訣は何ですか？

・一日 3 度の食事をきちんと摂ること。

Q．好きなこと・楽しみにしていることは？

・ラーメンやお寿司を食べに外食に行くこと。
・歌が好きで、歌番組で知っている曲が流れると歌い出す。
・若い頃は和裁の先生をしており、着物や座布団を作っていた。

板金店の名物おばあちゃん

駒田 キクヨさん（保原）

大正 7 年 7 月 1 日生まれ

自宅は板金店を営んでおり、今でも店番をすることもあります。いつも笑顔で周りの人を楽しませるお話しをする、みんなに愛されるおばあちゃんです。キクヨさんに会えることを楽しみにして、お店に来るお客さんもいます。

Q．好きなこと・楽しみにしていることは？

・自宅の家庭菜園でトマトやきゅうりなどの野菜を作ること。
・近所に小学生や中学生のひ孫が住んでおり、通学時に挨拶に来ること。

Q．長寿の秘訣は何ですか？

・家族みんながそろって生活すること。家族の支えがあったので長生きできた。
・自分の好きなことをして、素直に生きること。

92 歳まで現役で理容師として活躍

大橋 治助さん（霊山）

大正 7 年 6 月 16 日生まれ

自宅は理容所を営んでおり、92歳まで現役の理容師をしていたので、手先がとても器用です。その元気な姿は、新聞に取り上げられたこともあります。ご家族のお話では、節制した生活をずっと続けていることが、長寿につながっているのではとのことです。

Q．長寿の秘訣は何ですか？

・一日 3 食決まった時間に食事を摂ること。
・生活のリズムを崩さず規則正しい生活をすること。

Q．好きなこと・楽しみにしていることは？

・毎日朝食後にお茶を飲むこと。
・新聞を読むこと。
・家庭菜園で野菜を作ったり、庭で体操をすること。

3 月の休日当番医

［診療時間：9 時～ 17 時］

※当番医が変更になる場合や、当番日に診療していない科もありますので、事前に問い合わせの上受診してください。

当番日	休日当番医
3 日㊐	すずき医院 （内科・胃腸内科・循環器内科ほか） 保原町字西町 175 ☎ 575-2563
10 日㊐	武田小児科 （小児科・内科） 保原町字栄町 51 ☎ 575-2439
17 日㊐	ながえクリニック （内科・循環器内科・外科ほか） 保原町字中村町 30-1 ☎ 575-1118
	伊藤皮フ科クリニック （皮膚科・アレルギー科） 伊達市岡前 20-1 ☎ 551-1121
21 日㊍	ほばらクリニック （脳神経外科・心臓血管外科・循環器内科ほか） 保原町大泉字小作逢 15-1 ☎ 574-2522
24 日㊐	伊達セントラルクリニック （内科・胃腸内科・外科ほか） 保原町字西町 189-1 ☎ 575-3215
31 日㊐	まつもとクリニック （内科・胃腸内科・小児科ほか） 桑折町大字南半田字六角 15-1 ☎ 582-4800

夜間急病診療所（福島市）

福島市上町 5-6　上町テラス 2 階
☎ 525-7672
診療科／内科・外科・小児科
診療時間／ 19 時～翌朝 8 時
（小児科は 22 時まで）
受付／ 18 時 30 分～翌朝 7 時 30 分

福島県こども救急電話相談

夜間の子どもの急な病気・けがの相談に、医師や看護師が応じます。
相談時間：毎日 19 時～翌朝 8 時
☎ 521-3790（短縮ダイヤル ＃ 8000）

健康推進課地域母子係からのお知らせ

（問い合わせ：☎ 576-3510）

■妊婦歯科検診を受けましょう

妊娠中に歯周病が悪化すると、早産や低出生体重児のリスクが高くなります。安定期に入る妊娠 16 週ごろから受診しましょう。

■伊達ふれあいセンター KIDS 広場

毎週㊊㊏ 9 時～ 16 時、毎週㊌ 9 時～ 12 時　※ KIDS 広場は今月で終了となります。

お知らせ

地域素材がテーマのセミナーを開催

「地域素材を見直そう～地元で採れる果物を余すところなく活用しよう～」をテーマに、クロサワ育成財団主催で第３回伊達市セミナーが開催されます。

日時　３月９日㊏（11時～13時、15時～17時）
場所　セレビアスカイパレス
内容　伊達市産のいちごを使ったお菓子づくり
講師　日本菓子専門学校講師　阿部悟さん
定員　各回20人　参加費　無料
申込方法　伊達市観光物産交流協会に申込用紙をFAX（番号529-7759）または持参。
問 伊達市観光物産交流協会　☎529-7779

子育て支援センターの利用時間変更

保原北子育て支援センターと保原南子育て支援センターの利用時間が４月から変更になります。

変更後の利用時間
月曜日から金曜日の９時～12時、13時～15時
問 保原北子育て支援センター　☎529-7611
保原南子育て支援センター　☎573-0947

相　談

定例行政相談会

日時　３月４日㊊　10時～12時
場所　市役所中央棟１階　相談室
内容　役所や特殊法人への意見や要望などを受付。予約は不要です。
問 秘書広報課広報広聴係　☎575-1113

弁護士による無料法律相談会

日時　３月６日㊌　13時～16時
場所　市役所中央棟１階　相談室
内容　消費者問題、多重債務など
申込方法　市消費生活センターにお申し込みください。
問 市消費生活センター　☎574-2233

行政書士無料相談会

日時　３月28日㊍　９時～12時
場所　市役所１階　シルクホール
内容　離婚、相続、交通など　※予約は不要です。
問 総務課行政管理係　☎575-1111

女性のミカタ健康サポートコール

女性の心とからだの悩みの相談に保健師が応じます。

相談窓口　県北保健福祉事務所専用コール：☎535-5615
時間　平日９時～17時

募　集

暮らしの講座

テーマは「なりすまし詐欺・悪質商法の手口を知ろう！」です。寸劇を通して、悪質商法の手口、被害に遭わないための対処法を楽しく学びましょう。

日時　３月20日㊌　13時30分～15時
場所　市役所１階　シルクホール
定員　50人
講師　伊達市社会福祉協議会の皆さん、消費生活センター相談員
申込方法　前日までに市消費生活センターにお申し込みください。
問 市消費生活センター　☎574-2233

今年度最後のこども論語塾

日時　３月９日㊏　10時30分～11時30分
場所　保原小学校講堂
対象　小学生（保護者・一般の方も見学可能）
講師　太田祐美さん、川崎葉子さん
申込方法　各小学校に配布するチラシでお申し込みください。
問 こども支援課子育て支援係　☎573-5652

紅屋峠千本桜と観音様めぐり

保原地域にある信達三十三観音の札所などを巡り、紅屋峠千本桜で豚汁が振る舞われます。

日時　４月14日㊐８時30分受付
集合場所　保原中央交流館
定員　先着100人
参加費　500円（御朱印帳を購入する場合は別途1,500円）
申込締切　４月１日㊊（定員になり次第受付を終了します）
申込方法　保原地域の各交流館に申込書を提出してください。電話、FAXによる申し込みも可能。詳しくは、保原中央交流館にお問い合わせください。
その他　昼食や飲み物、雨具は各自持参してください。
問 保原中央交流館　☎575-4166

お店のPRやイベント情報の紹介に！
市政だよりに**広告を掲載**しませんか

１月あたりの広告料
縦45ミリ×横87ミリ　11,000円
縦45ミリ×横180ミリ　20,000円

広告料は広報紙発行の財源になります。

※このスペースは有料広告です。広告の掲載については秘書広報課（☎575-1113）にお問い合わせください。

3月の 施設案内　施設の最新情報をお届けします

市立図書館　☎ 551-2132

▼図書の貸し出し
本：1人5冊まで（期間は2週間以内）
DVD・CD：1人2点まで
（期間は1週間以内）

▼梁川、霊山、月舘中央交流館図書室では、図書検索機での貸出・返却ができます。ぜひご利用ください。

火～土 9時～19時 / 日祝は17時まで　㊡月曜日

図書館ボランティアを募集中

「何か」をやってみたい方はいませんか。
私たちと一緒に、大人も子どもも楽しめる図書館にしませんか。

［対　　象］　市内在住の高校生以上の人
［活動内容］　読み聞かせ・書架整理・資料配架・資料修理
［応募方法］　市立図書館カウンターにお申し込みください。
※詳しくは市立図書館ホームページをご覧ください。

←各中央交流館図書室の開館時間はこちらからご確認ください。

ふるさと会館　☎ 583-3244

エレキ・フェスティバル

2日㊏ 14時30分～
　福島大学吹奏楽団定期演奏会
3日㊐ 13時30分～
　チャリティコンサート
9日㊏、10日㊐ 9時～
　ピアノ・エレクトーン発表会
17日㊐ 10時30分～
　エレキ・フェスティバル
（㊟前売り 1,000円　当日 1,500円）

㊡月曜日（祝日の場合は翌日）

霊山児童館　☎ 586-3622

2日㊏ 13時30分～　ほん☆よむかい
5日㊋ 10時30分～
　12月～3月生まれの誕生会　※要申込
16日㊏ 10時30分～
　春のあそびのがっこう
19日㊋ 10時30分～　食育講座　※要申込
20日㊌ 15時～　フリースローゲーム
毎週㊎ 16時～　囲碁クラブ
毎週㊐ 13時30分～　囲碁教室

10時～18時30分　㊡木曜日

つきだて花工房 / 交流館もりもり

☎ 573-3888　　☎ 571-1777

9日㊏、31日㊐ 10時30分～
　味噌仕込み体験（㊟2,500円）
　※容器・エプロン持参
10日㊐、23日㊏ 10時～
　一貫張り教室（㊟1,700円）
18日㊊ 10時～　絵手紙教室（㊟1,000円）
25日㊊ 10時30分～
　ハーブ教室（㊟1,800円）

㊡5日火曜日

りょうぜん紅彩館 / 霊山こどもの村

☎ 589-2233　　☎ 589-2211

▼りょうぜん紅彩館
・23日㊏、24日㊐は小学生以下入浴料無料
・レストランで翡翠麺セット販売。
　1日限定15食（4月30日㊋まで）

▼霊山こどもの村（23日㊏再オープン）
・23日㊏、24日㊐は入園料無料
・「イルヨイルイル　モノモノノケ 展」
　3月23日㊏～8月27日㊋まで開催

㊡水曜日（紅彩館は第4水曜日のみ）

保原歴史文化資料館　☎ 575-1615

組み紐

▼つるし雛をつくろう！
［期間］　3月31日㊐まで
［時間］　10時～12時、13時～15時

▼春休み資料館まつり
組み紐ストラップをつくろう！
［日時］　3月2日㊏～4月7日㊐
　10時～12時、13時～15時
［材料費］　100円　※申込不要

9時～17時　㊡火曜日　㊟大人210円 / 小中高生100円

梁川美術館　☎ 527-2656

▼「私たちの高子二十境展
**　～描く・書く・撮る・詠う～」**
［期間］　6日㊌～17日㊐ 15時　※無料

▼「元気絵手紙の作品展」
［期間］　19日㊋ 13時～24日㊐ 14時
　※無料。22日㊎は開館。

臨時休館：26日㊋～31日㊐

9時30分～17時　㊡月曜日、祝日の翌平日　㊟常設展は有料

※詳細はホームページまたは直接施設にお問い合わせください。

広報紙をアプリで読もう

広報紙アプリ「マチイロ」で
だて市政だよりを配信しています。

アプリの DL は
コチラから

iOS　Android

人口と世帯

平成 31 年 2 月 1 日現在
伊達市住民基本台帳登録人口・世帯数
カッコ内は前月比

人口	60,733 人	(-83)
男	29,594 人	(-37)
女	31,139 人	(-46)
世帯数	22,717 世帯	(-15)

※住民基本台帳登録人口とは、住民基本台帳に登録された人口であり、直近の国勢調査人口を基本に算出した現住人口とは差があります。

3 月の水道修理当番表

「漏水の確認方法」を
動画で公開中

1日～2日	伊保	齋藤電建工業㈱	☎ 575-3194	10日～16日	伊保	㈲志賀設備工業	☎ 575-2378	24日～31日	伊保	㈱東洋住宅設備	☎ 575-4555
	伊保	㈲庄子商店	☎ 583-2031		伊保	㈲大和住設	☎ 575-5712		伊保	㈱松浦建設	☎ 575-2777
	梁	日栄工業㈱	☎ 577-2255		梁	㈲新梁設備技工	☎ 577-7631		梁	日栄工業㈱	☎ 577-2255
	霊月	㈱霊山設備工業	☎ 586-2161		霊月	㈲伊達設備工業所	☎ 587-1203		霊月	㈱もりもり住設	☎ 573-5936
3日～9日	伊保	㈲佐藤設備	☎ 583-3140	17日～23日	伊保	㈱松浦建工所	☎ 575-5001	4月1日～6日	伊保	㈱東洋住宅設備	☎ 575-4555
	伊保	保原液化ガス㈱	☎ 575-2134		伊保	浦山管工	☎ 575-1265		伊保	㈱松浦建工所	☎ 575-5001
	梁	㈱福島総合エンジニア	☎ 577-7188		梁	㈲加藤電気商会	☎ 577-0141		梁	日栄工業㈱	☎ 577-2255
	霊月	㈱もりもり住設	☎ 573-5936		霊月	㈱霊山設備工業	☎ 586-2161		霊月	㈲伊達設備工業所	☎ 587-1203

伊達地区管工事協同組合による当番表

子育て支援施設 利用案内

▼子育て世代包括支援センター「にこにこ」（保原保健センター隣）
［開所時間］ ㊊～㊎ 8 時 30 分～ 17 時 15 分　［電話］ ☎ 573-5687

▼子育て支援センター（相談受付：㊊～㊎ 9 時～ 17 時）

子育て支援センター	広場開放	電話
伊達子育て支援センター（認定こども園伊達こども園内）	㊊～㊎ 9 時～ 12 時 15 分、13 時～ 16 時	☎ 563-1277
伊達市子育て支援センター（梁川認定こども園内）	㊊～㊎ 9 時～ 12 時、13 時～ 15 時	☎ 577-0345
梁川子育て支援センター（梁川保育園内）	㊊～㊎ 9 時～ 14 時	☎ 577-0142
保原北子育て支援センター（認定こども園大田内）	㊊～㊎ 10 時～ 11 時 30 分 ※ 4 月から利用時間の変更があります（20ページ参照）	☎ 529-7611
保原南子育て支援センター（認定こども園上保原内）		☎ 573-0947
霊山子育て支援センター（霊山三育認定こども園内）	㊊～㊏ 10 時～ 17 時	☎ 586-3725

子育て支援センターは、お住まいの地域以外のセンターも利用できます。　㊐ こども支援課　☎ 577-3128

※このスペースは有料広告です。詳しくは、秘書広報課（☎ 575-1113）にお問い合わせください。

連載コラム

国際交流員の活動日誌 vol.24

国際交流員として日々奮闘するシャネンとトニー。市民が身近に英語に触れることができる環境づくりを目指し、取り組んでいる内容やアメリカの文化についてお伝えします。

聖パトリックの祝日

St. Patrick's Day

シャムロック（クローバー）

3月は春が来ると感じますが、僕の出身地のシアトル市は大抵雨です。キリスト教で復活祭（イースター）の前の断食の季節にも入っており、あまり楽しめない月ですが、3月17日には聖パトリックの祝日という楽しい祭日があります。

聖パトリックは、5世紀にアイルランドにキリスト教を伝えたアイルランドの守護聖人で、3月17日に亡くなりました。19世紀に、英国の支配下にあったアイルランドの人々の多くが貧困から米国へ移住しましたが、米国に引っ越しても、反移民化などのせいで生活が大変でした。そんな環境のなか、聖パトリックの祝日を祝う事で、アイルランドから移住した人々の絆が深まったのです。

今の米国でもアイルランド系が多いです（僕は4分の1アイルランド系。シャネンは半分アイルランド系）。特に東海岸に多くて、伊達市の国際姉妹都市があるマサチューセッツ州は、5人に1人がアイルランド系です。東海岸の大都市では3月17日に大きなパレードがあり、アイルランドの色である緑色の飾り（特にシャムロック）もいろんな場所で見られます。その日は、多くの人が緑の洋服を着て、アイルランド輸入の飲み物をたっぷり飲み、アイルランド料理と言われているコンビーフとキャベツを食べます。

僕が通った小中学校では、アイルランド系の修道女の先生が何人かいたので、この日は大きな行事でした。授業が終わったら、礼拝を行い、いろいろな遊びやアイルランド関係の活動を行い、全校生でパレードをしました。

日本では聖パトリックの祝日はほとんど祝っていませんが、その日は聖パトリックと新しい国へ引っ越すため大洋を渡った祖先へ祈りたいと思います。

（トニー）

★Revere Information

姉妹都市リヴィア市の情報をお届けします

Rumney Marsh（ラムニーマーシュ）

リヴィア市の大部分を占めるラムニーマーシュ（ベルアイルマーシュとも言います。）は、マサチューセッツ州の海岸にある唯一の湿地帯です。春に行くと展望台への歩道をたどりながら、野生の花を楽しむことができます。（シャネン）

※このスペースは有料広告です。詳しくは、秘書広報課（☎ 575-1113）にお問い合わせください。

1. 旧亀岡家住宅に飾られたつるし雛 /2. 折り紙でつるし雛をつくるワークショップ（保原歴史文化資料館）/3. お内裏様のつるし雛（月舘総合支所）/4. 色とりどりのつるし雛が来場者を楽しませている（まちの駅やながわ）

「色鮮やかなつるし雛」

春の訪れを控え、市内各所でつるし雛の展示が行われています。保原歴史文化資料館では、つるし雛づくりのワークショップを行っており、作ったつるし雛を旧亀岡家住宅に飾っています。まちの駅やながわと月舘総合支所には、地元の皆さんが作成したつるし雛を展示しており、来場者の目を楽しませています。（まちの駅やながわの展示は３月３日㊐まで。保原歴史文化資料館と月舘総合支所の展示は３月 31 日㊐まで）

市長コラム

第９回「伊達の美味しさを全国に‼」

伊達市の特産で冬の風物詩であるあんぽ柿の出荷が盛んに行われています。表面は鮮やかなオレンジ色で中はトロ～リと柔らかいゼリー状の果肉が特徴。私の家でも以前は出荷していましたが、当時あまり食べた記憶がありません。でもこの歳になってその美味しさに触れ、今は毎日のようにいただいています。もっと早くこの美味しさに気づいていればと、とても後悔しています。

市長に就任して１年。桃やきゅうり、あんぽ柿など伊達の美味しさを知ってもらうため、東京は勿論のこと、北は北海道から西は山口県までトップセールスをしてきました。

つい先日は、東京の銀座、新宿、日本橋で道行く人や買い物客にあんぽ柿の試食と新パッケージのサンプル品をプレゼンしました。首相官邸にも伺い安倍総理に食べていただきました。

セールスして分かったことですが、あんぽ柿を初めて食べた人の反応は、始めはどんな味か少し不安そうに口に運んだ後、満面の笑顔で「美味しい～」。食べれば絶対美味しいあんぽ柿。その方には、その場でたくさんご購入いただきました。

これからも伊達の美味しさや自然、名所などを多くの人に知ってもらうため、全国を東奔西走してまいります。

須田博行

手話でコミュニケーション vol.10

今月の手話「おめでとう」

軽く握りこぶしを作ります。

指を開きながら、手を上げます。

編集・発行　伊達市総務部秘書広報課　平成31年2月28日発行　NO.157
〒960-0692 福島県伊達市保原町字舟橋180番地　TEL024-575-1113　FAX024-575-2570　印刷・製本　タカラ印刷株式会社